

(様式 2)

## 教育研究業績書

令和 ○年 ○月 ○日

氏名 県大 太郎 印

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
1. 教育方法の実践例	平成 ○年○月	例:マルチメディア機器を活用した授業, 授業外における学習促進のための取り組み, 講義内容の Web 上での公開等
2. 作成した教科書, 教材	平成 ○年○月	(後の著書と重複してかまいません)
3. 大学院担当資格審査結果	平成 ○年○月	M合, D 合 (○○大学大学院○○研究科)  (該当なしなら, 記述は不要です。)
4. その他		
職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
		(学内の特別な任務の経験, 外部資金獲得状況(資金制度名(科研費の場合は研究種目), 研究課題名, 研究代表者又は研究分担者の別, 研究経費を記載)など)

著書, 学術論文等の名称	単 著 , 共 著 の 別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称, 巻号頁	概 要
著書				
1. ○○学概論	単著	平成○年○月	[○○出版]	(例) 我国の製造業種全体を支える中小企業の技術レベルを向上させるため, 通産省工業技術院の各研究所において研究開発されている各種の先端的工業技術とその応用技術の最新状況を集約して解説したものである。
2. ○○学入門 (過去→現在の順で記入して下さい)	共著	平成○年○月	[○○出版] 第○章 ○○論 pp.○○～○○	(例)○○学の初学者を対象とした入門書である。(中略) 共著者名:○○○○, 県大太郎, ○○○○
査読付き学術論文				
1. ○○に関する高速計算手段	共著	平成○年○月	○○学会論文誌, Vol.○○, No.○○, pp.○○～○○	(例)大規模な有限要素解析に使用するような, 大規模な疎行列を係数行列とする連立方程式を, 並列化した直接法で効率良く解くため,

				<p>接点番号付けの工夫により計算量を削減した係数行列を一般化したスカイライン法を取り入れたコレスキー分解法によって、効率よく高速に解けることを示した。</p> <p>担当部分:理論および結果の考察</p> <p>共著者名:〇〇〇〇, 県大太郎, 〇〇〇〇</p>
国際会議論文				
1. Parallel processing of rigid plastic FEM on PC cluster (英文の和訳)PCクラスターを用いた剛塑性有限要素法の並列処理	共著	平成〇年〇月 (20xx年〇月)	Proceedings of ... (ICOPU20xx), Vol.〇〇, pp.〇〇~ 〇〇	<p>(例)大規模な有限要素解析に使用するような大規模な疎行列を係数行列とする大規模連立方程式を、並列化した直接法で効率良く解くため、接点番号付けの工夫により計算量を削減し、一般化したスカイライン法を取り入れたコレスキー分解法を、UDPブロードキャストを利用したPCクラスター上の並列処理によって、効率よく高速に解けることを示した。</p> <p>担当部分:理論および結果の考察</p> <p>共著者名:〇〇〇〇, T. Kendai, 〇〇〇〇</p>
その他				
1. 解説・総説 〇〇〇の動向とその将来	単著	昭和〇年〇月号	〇〇学会誌 第〇巻, 第〇号, pp.〇〇~〇〇	<p>自然言語処理システムなどで要求されるような大量の知識を効果的に記述し、管理するために設計・開発したオブジェクト指向型記述言語〇〇〇〇の設計思想および知識ベース管理機能を始めた機能概要を示したものである。</p>
特許				
(a) 登録〇〇件				
No.	登録番号	題名 / 出願者 / 出願年月日		
1	327〇〇〇〇	「〇〇〇における〇〇の評価方法」 / 〇〇〇〇, 県大太郎, 〇〇〇〇 / 平成〇年〇月〇日		
2	未定	「〇〇〇およびその製造方法」特許公開 平 05-27〇〇〇 / 県大太郎, 〇〇〇〇 / 平成〇年〇月〇日		
3	ヨーロッパ(独, 仏, 英, 伊) 0504〇〇〇	「題名」(題名の和訳) / Taro Kendai / (20xx, xx, xx)		
4	US(米) #546〇〇〇〇	「英文題名」(題名の和訳) / Taro Kendai / (20xx, xx, xx)		
(b) 公開〇〇件				
No.	特許公開番号	題名 / 出願者 / 出願年月日		
1	平 06-27〇〇〇〇	「〇〇の検査方法」 / 〇〇〇〇, 県大太郎 / 平成〇年〇月〇日		
(c) 実用新案公開〇〇件				
No.	実用新案公開番号	題名 / 出願者 / 出願年月日		
1	平 14-054〇〇〇	「〇〇型バスタブ」 / 県大太郎 / 平成〇年〇月〇日		